



# JR東労組仙台

East Japan Railway Workers' Union SENDAI  
東日本旅客鉄道労働組合仙台地方本部

発行者:佐々木克之

編集:情宣部



2024年3月13日 No.67 東北三地本HP

## 3月8日会社回答に対する職場の声 第4弾

・夏期手当2.7ヶ月は低い。去年と比べて云々言っても2.7は2.7！ならば最初から2.83ヶ月にしないところに意地汚さを感じる。追加支給を要求すべき。きゅんパス対応でみんな頑張ってる。会社は応じないだろうが逆に会社の器の小ささが晒されるからやり方によっては組織化する上で有利に働く。・世間相場に見合っていない。物価上昇で家計は逼迫している。・ベアに格差は必要ない。気持ちよく満額回答。・働き度に見合っていない。融合と連携で社員は疲弊している。このままでは若手の退職が増え、更に業務量が増えるのではないか。・早々に夏期手当が提示されると聞き期待していたが、低額の回答にモチベーションが上がらない。・若手はもっと不満を口にした方がいい。少し上がったから良いではなく、将来に関わってくる問題だ。・出たという印象。しかし、業績が良かった時に出さなかった事に腹が立つ。・賃金も大事だが、労働条件も大事。・生活が安定してこそ仕事ができる。生活に不安を抱えたままでは、安全が脅かされかねない。・会社役員と同じ上がり幅じゃないと納得いかない。・早い時期にボーナスの金額がわかると、生活設計がたてやすい。業績からするともっとあってもいいんじゃないか。・日本製鉄は組合要求を大きく上回る35000円、トヨタ、日産、日立製作所等満額回答!わが社は、本当に一流企業なの?・劣悪な作業環境で働いているエルダー社員の立場を否定した回答としか思えない!・一定額のベア額を掲示しない事に違和感を感じます。他の会社を見ても、ベアは一律で掲示しているのに、そこにわざわざ差をつける必要は無いと思います。職種が上位の人のベアを下げて若手社員と均等に掲示したほうが良いと感じます。こじつけは必要ないので、社員が一目でどの位給料が上がるのか明確にして欲しかったです。・夏季手当2.7カ月は2.7でしかない。会社の表記方法(2.83カ月)には頭に来る。・金額は思っていたよりも出たが、格差が出ていること自体、会社の思惑を感じる。・会社の姿勢や将来がどうなっていくかますます不安。・これで離職率や新卒採用の応募数が昨年より改善されなければ会社の今回の回答は間違っていることになる。・世の中が「物価高に負けないベア、ベア」と政府、経団連、マスコミ含め騒いでいたからJRもこんなに出さざるを得なかったんでしょ?勿論、労働組合も頑張ってくれてのもあるけれど…。・これくらいもらえてある程度は満足している(入社以来最高)・S採が全ていなくなって人件費浮く分、若手に回せ。・働き方も変わってきている。それで今までと同じ賃金ではおかしい。・社友会の声はこれから出てくるだろうが、どうせ会社の回答に満足しているといった意見しかでなんだろう。でも、末端の社友会員の声は全く違う。・一律定額12000円の要求に対しての、会社の回答については、ある程度高い回答だと自分も感じています。今現在も物価上昇は続いていて、生活が厳しく生活を守るか不安。少しでも不安解消できるよう、夏季手当については、モチベーションを上げて仕事して行くために、回答より0.01でもいいのでプラスの回答を会社に出して欲しいです。・ベースアップに関しては正直思ったよりも会社は頑張ってくれたのかなって思います。しかし、まだまだ格差がありますし、昇進試験を受けて合格すればいいのですが、その試験すら合格できないのが現状で(2023年度の〇〇職場の主任合格率0%)、昇進試験のやる気も削がれてしまう。格差がなくなれば気負う事なく昇進試験にチャレンジできるのではないか。・夏季手当に関してはいつまでもコロナ禍前の2018年度と比較するのではなく、前年度の業績や将来を見据えて考えて欲しいです。また様々な働き方改革の中で、これまで以上に社員に求められる事、仕事量が増えてきているので、そのモチベーションの維持のためにも会社としてしっかりと答えて欲しいです。・今回、ベアに関してやはり、格差が生じるのは、納得がいかない。そして、定昇カット分としてベアに貼り付けたのならば少な過ぎる!リーディングカンパニーがこんな回答でいいのか?・賃上げの金額だけみたら、思ったよりは回答出したなって思っていたが、東海や西日本の事を知った後は、結局出し惜しみする会社なんだなと率直に思った。・なぜ回りくどい回答をするのか分からない。格差を付けてはいけないと思う。金額的には限界かとは思う。